

「『外地』 日本語文学データベース」プロジェクト

A. メンバー

【事業推進担当者】 木村一信

【PD】 楠井清文

【RA】 三上聡太

B. 研究目的

本プロジェクトは日本近代文学研究におけるデータベース構築を目的として2007年度より開始した。データベース化の対象としているのは、戦前期「外地」と呼ばれた朝鮮、台湾、満州の旧植民地はじめ、中国の旧占領地の日本語文学である。これらの資料はその性質上、国内に存在しないものもあり、アジア各国の日本語文学研究との連携は不可欠である。そのためのポータルサイトの構築、資料の翻刻やデジタルデータ化も活動のうちである。

これまでの日本近代文学研究は、もっぱら国内の作品のみを「日本文学」とカテゴライズしており、「外地」の日本語作品の位置づけはほとんどなされてこなかった。そのため、前者の資料はこれまで活字ベースでの整理がなされてきた一方、後者の資料についてはほとんど未着手のままであった。近年、国内外の大学や研究機関が、少しずつではあるが各所蔵資料をウェブ上で公開し始めており、デジタル・ヒューマニティーズによる共同研究の可能性がひらけてきた。本プロジェクトはそうした状況に先立ち、「外地」日本語文学研究のための国内資料を公開し、国外資料の調査・保存をすることで、当該領域の研究インフラの向上にむけて活動している。

C. 本年度の成果

〈シンポジウム〉

「〈外地〉文学への射程」(立命館大学国際平和ミュージアム、2012年1月21日)

- ・開会の挨拶…木村一信(本拠点事業推進担当者)
- ・研究発表…楠井清文(本拠点 PD)「〈外地〉文学研究の新たな方向性—デジタル・ヒューマニティーズを経由して—」、コメンテーター：三上聡太(本拠点 RA)、鄭炳浩(高麗大学校)「近代初期朝鮮半島の日本語文学から見る朝鮮文学の日語訳」、コメンテーター：土屋忍(武蔵野大学)
- ・講演…池内輝雄(國學院大學)「旅行誌『観光東亜』に見る「満州」」、コメンテーター：竹松良明(大阪学院短期大学)

〈論集〉

木村一信(監修『〈外地〉文学への射程』双文社、2012年4月刊行予定)、木村一信「女性作家たちの〈外地〉体験」、楠井清文「京城帝国大学と朝鮮の日本語文学—雑誌『城大文学』と泉靖一を中心に—」、三上聡太「黒島傳治『武装せる市街』論—プロレタリア文学に描かれた〈外地〉・阿片—」所収

D. 論文・学会発表以外の活動の記録

- ・『京城日報』データベース構築、および公開準備
- ・インドネシア国立図書館での『爪哇日報』の調査
- ・韓国国立中央図書館、及び韓国高麗大学日本研究センターでの日本語文学資料の調査
- ・立命館大学平和ミュージアム所蔵の朝鮮半島絵ハガキ・紀行文の調査

E. 業績一覧

〈著書〉

木村一信監修『外地の人々―(外地)日本語文学選』亀鳴屋, 360p., 2011年5月

〈論文〉

木村一信「南方徴用作家の言説―阿部知二、井伏鱒二、高見順」高麗大学校日本研究センター『帝国日本の移動と東アジアの植民地文学』, pp.365-375, 2011年11月

楠井清文「植民地朝鮮に対する『観光のまなざし』の形成―立命館大学国際平和ミュージアム所蔵絵葉書と文化人の紀行文を中心に―」アート・リサーチ, 12, pp.31-43, 2012年3月

三上聡太「堀田昇―『モルヒネ』論―朝鮮モルヒネ政策を告発した作家―」日本研究, pp.207-221, 2011年8月

三上聡太「高見順の戦後―阿片問題を中心として―」日本文芸学, pp.87-101, 2012年3月

〈招請講演〉

木村一信「阿部知二・北原武夫・小野佐世男のジャワ」ASJI-インドネシア日本研究学会-大会, スラバヤ国立大学(インドネシア), 2011年9月24日

〈講演〉

木村一信「〈外地〉日本語文学について」武庫川女子大学国文学会公開学術講演会, 武庫川女子大学(兵庫県), 2011年11月30日

〈口頭発表〉

楠井清文「〈外地〉文学研究の新たな方向性―デジタル・ヒューマニティーズを経由して―」シンポジウム「〈外地〉文学への射程」, 立命館大学国際平和ミュージアム(京都市), 2012年1月21日

三上聡太「呂赫若と台湾阿片政策―合家平安を中心に―」アジアン・ディアスポラ研究会, 立命館大学(京都市), 2011年3月10日

三上聡太「高見順―(戦後)としての阿片問題―」日韓学術フォーラム, 東西大学(プサン市, 韓国), 2011年8月21日

〈研究ノート〉

木村一信「〈外地〉日本語文学のすすめ」ニューサポート, 2011年4月

木村一信「中島敦の文学と白川静先生と(その二)」立命館白川静記念東洋文字文化研究所『白川研究所便り』, 2011年5月

木村一信「インドネシア語版『罪の日』に寄せて」インドネシア大学出版部『阿部知二「罪の日」』, 2011

年 11 月

〈その他〉

《GCOE セミナー》

三上聡太「〈外地〉文学研究とデジタル・アーカイブス」第 110 回 GCOE セミナー，立命館大学アート・リサーチセンター（京都市），2011 年 7 月 19 日